

一つのボールで、みんなが同じ気持ちになれるんです。

婦人スポーツクラブが座席をあげたのが昭和44年。今年でもようど30周年を迎えるんです。昭和39年が全盛期の時代。その影響もあって、設立2年後には、市内でも41チーム、600人ぐらいの会員いましたね。

今でも30年間、クラブでバレーを続けている人が5人いるんです。そのうち一人は、この30年間試合を休んだことも、ベンチにさがつたこともないんです。ただ單に「バレーボールが好きだから」では、ここまで続けられないですね。出会った人を通じて、また

新しい人の出会い。一つのボールで、みんなが同じ気持ちになれるんです。そこがバレーボールの魅力ですね。館山のどこに行つても、仲間がいるんです。

春には軽スポーツ大会や親善大会。冬には若潮マラソン大会。第1回目から、給水所のお手伝いをしているんです。

軽スポーツ大会は、ご主人や子どもたちも一緒になって、家族ぐるみの楽しい大会。子どもたちも母親に影響されて、バレーボールを中学、高校で始めたり、スポーツ少年団に入つたり。スポーツに対するお互いに理解し合つて、お互いに応援するような親子関係なんですね。（話は会長の吉田さん）

それでもやっぱり、主婦は忙しい身。大会当日も、朝早く起きて、食事、洗濯、掃除と全てこなしてから。ほとんどが勤め人でもあるので、練習も夜8時から。たいへんだけど、その分汗をかいた後の充実感はあります。

30周年の記念式典では、「花の館山」をみんなで踊ろうつて、練習しているんです。一つのボールを中心にして、仲間たちにぎやかな、いい仲間たちです。人と人との出会い。これからも大切にしていきたいですね。（話は会長の吉田さん）

館山市婦人スポーツクラブ（吉田ふみ子会長）。10団体、会員150人。今年30周年を迎える。今月21日には、市内で記念式典を開催。

だん暖たてやま

11

広報/たてやま

平成11年11月号(15日発行) No.584

発行/館山市秘書広報課 〒294-8601 館山市北条1145-1
電話 22-3111内線 505 FAX 23-3115

●11月1日の人口/総人口 52,648(85)
男 25,333(47) 女 27,315(38) 世帯数 20,602(32)
() 内は前月比



▼記念式典に向けて「花の館山」練習中



**松山バレエ団館山公演
くるみ割り人形全幕**

とき: 12月4日(土) 午後3時開演
ところ: 南総文化ホール(大ホール)

入場料/全席指定 S席7,000円
A席6,000円 B席5,000円
前売所/南総文化ホール 松田屋楽器店
カミヤマ駅前店 宮沢書店
カミヤマジャスコ店 館山観光案内所
問合せ/館山市教育委員会生涯学習課文化係(☎ 22-3111内線663)

PROFILE
館山市婦人スポーツクラブ(吉田ふみ子会長)。10団体、会員150人。今年30周年を迎える。今月21日には、市内で記念式典を開催。



館山湾に北西の強風が吹き付ける季節になった。浜に打ち上がる流木などに群生しているエボシガイが良く見つかるのもこの時期である。この動物はくねくねと曲がる柄の上に鳥居子の形に似た殻を持つため、貝の仲間と間違われるが、実はエビやカニと同じ甲殻類に属している。殻の隙間からのばした6対の蔓状の足を閉めて餌を捉える。このたびが固着生活をするが、発生途中に甲殻類の特徴であるノープリウス幼生というプラシクトンの時期があり、水中を泳ぎ回る。親戚のフジツボやカメノテが岩に固着するのと違つて、この仲間は流木・浮標・筏・船底など漂流する基物に群がつて付着し、他動的ながら移動することが出来るのである。ほとんどの世界中に広く分布し、中にはムラサキハダカエボシのように生きたエビやカニの甲羅に付着する変わり種もある。

いま流木に乗つて打ち上げられ、房総の浜で旅路の果てを迎えたこの一群も、遙か遠くの大洋を漂つて来たにちがいない。（小池康之）

見つめてみよう観てみよう
エボシガイー7つの海で漂流生活

を開閉して餌を捉える。このた

め、蔓脚類と呼ばれている。成

体は固着生活をするが、発生途

中に甲殻類の特徴であるノープ

リウス幼生というプラシクトン

の時期があり、水中を泳ぎ回

る。親戚のフジツボやカメノテ

が岩に固着するのと違つて、こ

の仲間は流木・浮標・筏・船底

など漂流する基物に群がつて付

着し、他動的ながら移動するこ

とが出来るのである。ほとん

どもの仲間は流木・浮標・筏・船底

など漂流する基物に群がつて付

着し、他動的ながら移動するこ

晴れの名誉市民に4氏 名誉市民の称号を贈呈



飯田義男さん



岩崎彌壽彦さん



安田豊作さん



和田金次さん

市に貢献した市民
などに贈られる「名
誉市民」に元市議会
議長の飯田義男さん
(80) □藤原△画家
の岩崎彌壽彦さん
(81) □見物△元市
教育長の安田豊作さ
ん(87) □山本△全

日本剣道連盟顧問の和田金次さ
ん(91) □北条△の4人が選ば
れました。昭和45年に制定されて以来、
15人目の名誉市民。同記念式典
で、新たに選ばれた4人に名誉
市民証が贈られました。

飯田義男さんは、旧神戸村長
や館山市議を9期(32年余)務
め、この間議長を歴任。議会人
として市政振興に情熱を注ぎ、
郷土の発展と市民福祉に尽力し
ました。

岩崎彌壽彦さん(雅号)岩崎
巴人)は、昭和11年に日本画家
となり、現在まで63年間にわたり
画壇第一線で活躍。これまで
389点の作品が市に寄贈され、

小松美代子、佐野榮子、鈴木和
子、鈴木静子、鈴木照子、仲山
貞子、長嶋京子、長房初子、流
山多津子、平本葉子、本間トシ
エ、前田英子、山田晋、吉田たせ
【社会安全功劳】

飯沼正幸、石井勲、石井義
雄、市野義之、伊東宏明、大嶋
邦夫、太田喜雄、尾崎弘明、木
曾三郎、近藤好雄、佐藤定幸、
佐野金治、佐野敏夫、鈴木亀
吉、鈴木忠夫、高梨力行、滝口
琢郎、田中義男、田邊輝雄、出
口忠明、富田健夫、中田恵三、
濱田正道、一二三多作、平野
清、廣井武雄、町田保芳、山田

一夫、渡部上
【税務功劳】

石井武雄、杉井忠司、鈴木武
男、戸倉よし子、長嶋茂樹、早
川敏男、松本義久、山内恭道
【まちづくり功劳】

安房運輸(株)、(株)石井工
務店、おどやグルーブ、(株)
カネフク、(株)関東十字屋館
山店、(株)桃屋、(有)小林
貴金属店、コミヤ味工(株)、
白幡興業(株)、ジャスコ
(株)館山店、(株)鈴木四郎
商店、館山医師会刀圭会、館山
駅西口地区街づくり協議会、館
山市金融団、館山市建設協力

会、館山市遊技場組合、東京地
方税理士会館山支部、富浦ロイ
ヤルホテル、諸銀座料理飲食業
協会、(株)計工務店、波奈絶
本店、布珪観光グループ、東関
東キヤタピラーグ三菱建機販売
館山教会、渡辺建設(株)

【善行表彰】

岩崎彌壽彦、北見嘉詔、館山
中央ライオンズクラブ
【功労表彰】

植木馨、齊藤實、金子光男、
鈴木正義、秋山貴、秋山美代、
飯田和子、飯田浩、飯沼恒、石
井治、石井貞夫、石井武美、磯
邊正治、榎本光孝、小笠原徳
長、栗原澄江、小林一男、齊藤
正史、佐野千里、佐野芳男、庄
司薰、鈴木隆志、鈴木正一、鈴
木光子、鈴木八千代、関好明、
田中久夫、谷野長七、田丸一



晴れの市政功労者を表彰

市制施行60周年記念式典

域になりました。

この日、式辞に立った辻畠市
長は「市制施行以来60年、この
間県南地域の政治、経済、文化
の中心都市として、また首都圏
のリゾート地として着実に発展
を続け、今日に至っている。式
典にあたり、市の発展、振興に
ご尽力された方々に、さきやか
な感謝の意を表すことができる
ことは無上の喜び。経済的にも
精神的にも豊かな生活が享受で
きるまちづくりに全力を傾注
し、自然と共に生する南房総の串
核都市「館山市」のさらなる発
展を推進し、市民が主人公を想
念に『21世紀へはばたく館山』
の実現を目指したい」とあいさ
づしました。

式典では新たに名誉市民に選
ばれた元市議会議長の飯田義男
さん、元市教育長の安田豊作さ
ん、日本画家の岩崎彌壽彦さ
ん、自本画家の岩崎彌壽彦さ
ん、元市教育長の安田豊作さ
ん、全員本剣道連盟顧問の和田

義男さん、元市議会議長の飯田義男
さん、元市教育長の安田豊作さ
ん、全員本剣道連盟顧問の和田

里見水軍武者行列や火縄銃実演・戦国絵巻を再現

盛大に南総里見まつり

安房の地を支配した戦国大名・里見氏をしのぶ「南総里見まつり」が先月17日、城山公園芝生広場を主会場に開かれ、約3万6千人の人出でにぎわいました。昭和57年、館山市立博物館分館(市立博物館分館)開館を記念して開催された同まりも今年で18回目。今年は、武者行列に2歳の女の子の参加も。この夏県大会を制してインターハイ出場を果たした安房高女子剣道部のメンバーなど、出陣前、武者行列初参加のみなさんをカメラで追ってみました。



時代絵巻に一役 私たちも参加しました!

南総里見まつり当日。午前8時30分。正午の出発を前に、早朝から安房西高体育館に武者行列参加者が集まってきた。

▼着付けで参加

総勢160人。そのうち、手づくり甲冑隊60人の着付けを手がけるのは、「手づくり甲冑サークル」のメンバー18人。

平成3年に中央公民館で行われた「甲冑づくり教室」のOBが集まり、6年前に設立。以降、観光協会からの依頼で手づくり甲冑数領を寄贈。当日の着付けも手がけています。

「今年は60領の着付け。忙しいですね。去年、雨でやれなかつた分、参加者と一緒に着付けも気合いが入っています」と、代表の赤岩貫司さん。〔写真1〕

▼最年少で参加

武者行列参加最年少は、永藤旦子ちゃん。2歳。同サークル会員でもある祖母の伊藤紀子さんが作った手づくり甲冑で参加。甲冑づくり3年目という伊藤さん。趣味の紙人形づくりの手法を取り入れ、紙製の甲冑を

「時代絵巻に一役私たちも参加しました!」

I週間かけて製作しました。「似合うでしょ」と旦子ちゃんもニッコリ。〔写真2〕

▼高校生も

竹刀を長刀に持ち替えての参加は、安房高女子剣道部。石井恵美子さんは「剣道で少しは慣れているけど、長刀は難しいですね。みんなで参加できてる嬉しい」。〔写真3〕

▼子どもたちも

「うちの学校からの出発。うれしいですね」とは、安房西高男子生徒8人。先生も一緒に初参 加。「少しそうかしいけど、みんなで出られたので、うれしうれしい。刀もかつこいいね」と二ツゴリ。〔写真4〕

スポーツ少年団の仲間で参加したのは北条スターズの子どもたち。5年生11人、野球のユニホームを手づくり甲冑に着替えの参加。孫崎友徳君は「ユニークもいいけど、甲冑もいいね。行列では昔っぽく歩きたかった」。また、館山に来たいですね。

▼ペリンハム市からも

外國からも初参加。姉妹都市米国・ペリンハム市から参加したのは、職員交換事業で館山市を訪れたアマンダ・グローヴさんとローラ・ケレハーさんの2人。「大人も子どもも一緒。いいおまつりですね。甲冑もデザインがきれい。日本の文化を肌で感じられ、いい機会を与えてもらつた。また、館山に来たいですね」。

身長170センチ以上の2人。「わらじが少し小さかつたですね。今度はビッグサイズで」とニッコリ。



「いき出陣」。呼び物の里見水軍武者行列は、JR館山駅東口から自抜き通りを通って同公園に至る2キロのコースで行われました。騎馬3頭、鉄砲隊4人を含めた総勢16人が参加し、甲冑に身を包んだ勇壮な武者が市内を行進。

行列を先導し馬にまたがったのは、里見義実公役の小林拓雄・海上自衛隊第21航空群司令、義弘公にJR東日本木更津駅ピューラザの難波裕子さん、伏姫には同航空群の加茂川

手鶴さんがあんしん、それぞれ大役を務めました。武者行列には、六軒町、三ヶ町、長須賀、下町、仲町、新井、柏崎の山車7台と、真倉、青柳、上須賀、沼のみこし4基も加わり、パレードに花を添えました。

この日は好天に恵まれ、武者行列のコースとなつた沿道には多くの市民が詰めかけ、堂々と練り歩く武者たちをカメラに収めようとシャッターを切つたり、声援を送つていました。

会場周辺では、館山郵便局申里ワーケホームが出店したり、姉妹都市の山梨県有和町がぶどうを販売。仮設舞台では、市民参加によるおはやしや舞踊、民謡、詩吟、伝統芸能などが行われ、夕方には「ピットヨモチ投げ大会」も行われ、盛り上がりを見せっていました。

城山公園到着後は、多くの観客が見守る中、厳かに出陣式が行われ、鉄砲隊による火縄銃実演、三獻の儀なども行われるなど、戦国絵巻を再現。



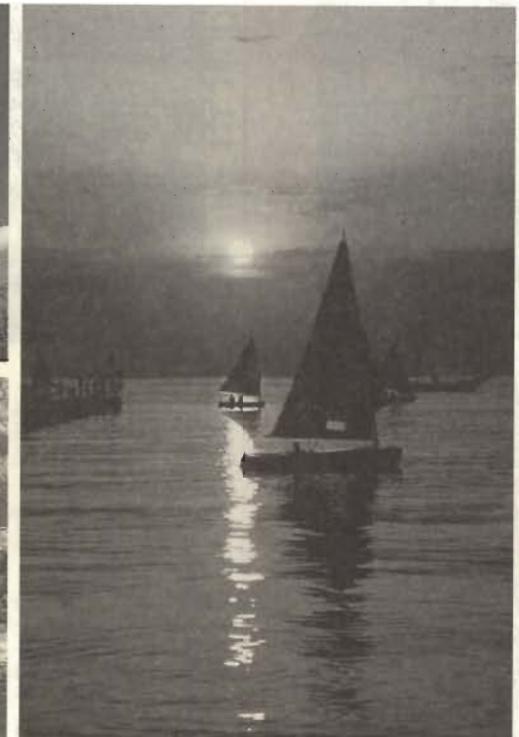
南房総の魅力
盛りだくさん

館山市・白浜町・千倉町・丸山町が花と海と太陽をテーマに

1000年記念イベントを開催



館山市、白浜町、千倉町、丸山町の1市3町と民間企業で構成する南房フラワーパークリゾート推進連絡協議会では、一九九九年最後の夕日と二〇〇〇年の初日の出を南房総で楽しんでもらうと、一〇〇〇年代から二〇〇〇年代に時代が移り変わる瞬間を撮影した写真を募集し、コンテストを行います。また、12月1日のクリスマスフェスタ（丸山町）を皮切りに、各地域で多彩な記念イベントを開催します。ご家族おそろいでどうぞ。



終焉を告げる夕日と開幕の初日をカメラで

写真コンテスト・作品を募集

記載事項／作品裏面、1枚ごとに応募票（自作可）を貼付し、題名、撮影場所、撮影日時、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記。
作品版権／入賞作品の著作権は主催者に帰属。

原版の提出／入賞者は定期的に提出（原版の提出がない場合は入賞を取り消します）。
作品の返却／応募作品は原則未発表作品に限る。
応募点数／何点でも応募可（未発表作品に限る）
撮影場所／館山市・白浜町・千倉町・丸山町
(12月20日～1月15日)
①一九九九年の夕日
(12月20日～12月31日)
②二〇〇〇年の朝日
(1月1日～1月15日)
③自然・行祭事・風物等

応募規格
カラープリント四つ切判（單写真に限る）

応募規定

テーマ・撮影期間

として返却しません。ただし、選外作品は希望により返却します（送料は応募者負担）。

平成12年2月10日（当日消印有効）

優秀賞／2点（3万円）

入選／8点（一万円）

特別賞／55点（各協賛団体）

ペア宿泊券・ランチ券・地元特産品等

入賞の発表

平成12年2月下旬予定（審査結果は入賞者に直接通知）

表彰式

平成12年3月上旬・千倉町潮風王国多目的ホール

写真展の開催

入賞作品は、各市町で移動写真展を開催します。

主催
南房フラワーパークリゾート推進連絡協議会・館山サンシャインリゾート推進連絡協議会

応募・問合せ先

千倉町企画課（南房フラワー

パークリゾート推進連絡協議会事務局）〒295-8601

安房郡千倉町瀬戸2294

44-15616



南房総の魅力いっぱいに 花 記念イベントスケジュール 海

●クリスマスフェア	12月1日～25日	ローズマリー公園	
●お正月海産物格安フェア	12月25日～31日	潮風王国	
●ロマンティックナイト in野島崎	12月下旬～1月上旬	野島崎灯台	
●館山ファミリーパーク 2000年イベント	12月下旬～3月	館山ファミリーパーク	
●南房総西暦2000年記念 カウントダウンパーティー	12月31日～1月1日	館山ファミリーパーク	
●花のかまくら	12月25日～3月末	館山ファミリーパーク	
●いちご狩り	12月25日～5月7日	館山ファミリーパーク	
●花のかまくら	12月25日～1月末 ローズマリー公園	ローズマリー公園	
●花のかまくら	12月31日～1月3日	野島崎公園	
●花のかまくら	12月31日～1月3日	潮風王国	
●郷愁の霧笛体験	1月1日	野島崎灯台	
●新年の縁日	1月1日～3日	ローズマリー公園	
●初日見物甘酒プレゼント	1月1日 潮風王国	潮風王国	
●なの花フェスタ2000	1月1日～2月末	南房バラダイス	
●フラワーフェスティバル	1月8日～3月31日	ローズマリー公園	
●鏡ヶ浦寒中水泳大会	1月15日 館山市	館山市	
●石堂寺観音例大祭	1月18日	丸山町・石堂寺	
●小塙太師初大祭	1月21日 小塙太師	小塙太師	
●丸山町産業祭	1月23日 丸山町	丸山町	
●若潮マラソン	1月30日 館山市	館山市	
●白浜町産業まつり	1月下旬 白浜町	白浜町	
●花や香フェスタ・イン・白浜	1月下旬から3月下旬	館山市	
●いちご狩り	1月初旬～5月上旬	館山市	
●いちご狩り	1月初旬～5月上旬	丸山町	
●花摘み	1月初旬～3月下旬	館山・白浜・千倉・丸山	
●真野大黒祭	2月6日 真野寺	真野寺	
●南房総フラワーマーケット	2月12日～13日 千倉町	千倉町	
●野島崎灯台まつり	2月20日 白浜町	白浜町	
●南房総白浜菜の花マラソン大会	3月5日 白浜町	白浜町	
●シェイクスピア狂言和泉元彌狂言の世界	3月18日～19日 丸山町	丸山町	

グリーティングカードコンテスト

最優秀賞に北条小の三幣さん



姉妹都市・米国ペリンハム市へ心のこもったカードを贈ろうと、市内の小学生から作品を募集した「グリーティング(あいさつ)カードコンテスト」の入賞者が決まりました。

5回目を迎えた同コンテストに、市内7小学校から199点が出品。審査の結果、押し花をあしらい、絵本のようにカードを仕上げた北条小5年の三幣真代さんが最優秀賞に輝きました。過去2回応募し、2回とも優秀賞だった三幣さん。3回目で最優秀賞を手にしました。三幣さんは「選ばれてうれしい。返事がくるのが楽しみ」と話していました。

全応募作品199点は、今月下旬にペリンハム市へ発送。年明け、返事がくる予定です。

以下、入賞者は次のとおりです。
 ◆優秀賞=石井絵里奈(船形小4年)・堀口美貴(館山小6年)
 ◆優良賞=大山広空(船形小4年)・鈴木亜矢香(船形小4年)・田辺有希(館山小4年)・安井咲子(富崎小6年)・藤元知春(豊房小6年)・飯田祐香(館野小5年)・出山千晶(九重小5年)

ガーデニングコンクール

市長賞に金子さん



館山市文化祭参加行事の第2回ガーデニングコンクールの最終審査が行われ、入賞者が決まりました。

写真審査に応募のあった28点の中から、優秀作を現地で審査。そのうち、金子美津子さん(下真倉)が丹誠込めて作り上げた花々が市長賞に輝きました。花壇の柵や棚はご主人が日曜大工で製作。2人で力を合わせての受賞。金子さんは「選ばれてうれしい」と話していました。

以下、入賞結果は次のとおりです。
 ◆館山市教育長賞=大竹和江
 ◆南房パラダイス園長賞=井倉美津子
 ◆館山市観光協会長賞=竹生田千恵子
 ◆東京電力館山営業所長賞=倉田ひろみ



「自信作です」と丹誠込めて育てあげた自然薯を手にする田中組合長
=自然薯直売所で

（田中治一組合長）

「秋の味覚を味わつて！」
 九重自然薯組合 今年も直売所をオープン

「秋の味覚を味わつて」
 南房総の特産品にしようと自然薯のパイプ栽培に取り組む、

館山市九重自然薯組合（田中治一組合長）が、今年もJR九重駅近くの県道沿いに直売所を

オープンしました。

「今年は天候に恵まれ、味も抜群。自信作です」と、まっすぐ育った組合員自慢の自然薯が店頭に並べられました。

同組合は4年前から7軒の農家が集まり、安房農業改良普及センターの指導でほ場など約6センチのパイプを二つに割り、U字型になつたパイプに赤土を詰め、その中に苗（長さ4、5センチ）を1本ずつ植え付けます。これを15～20度の傾斜をつけて20センチほどずらし、将棋倒し風に何本も重ねて埋めています。

生産品はいずれも1・3メートルほどの長さ。2年がかりで

ムカゴと呼ばれる種イモから苗を栽培。プラスチック製の直径6センチ、長さ1・3メートルほどのパイプを二つに割り、U字型になつたパイプに赤土を詰め、その中に苗（長さ4、5センチ）を1本ずつ植え付けます。これを15～20度の傾斜をつけて20センチほどずらし、将棋倒し風に何本も重ねて埋めています。

3ヶ月ほどで1・3メートルほどに育ち、収穫までの2ヶ月で太さが増すといいます。

「じっくり育てる」のがこつ。初年の千二百本から徐々に数を増やし、今年は1万本の収穫を見込んでいます。

生産品はいずれも1・3メートルほどの長さ。2年がかりで



販売も組合員自ら

ソバの白い花が広がり、秋風に揺れる——。先月中旬、社金福利法人・安房広域福祉会（中里ワークホーム）（張替栄施設長）の訓練生たちが栽培しているソバ畠で、白い小さな花が一面に咲きました。

同月18日には訓練生たちが下草の刈り取り作業に汗を流しました。

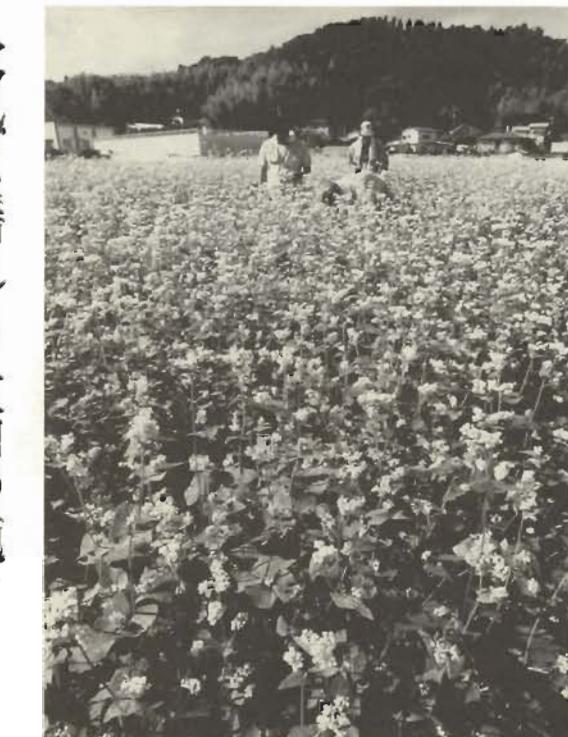
8月下旬に種をまいたソバは茎の長さ60センチほど。同施設では、山本地区の休耕田約2ヘクタールを借りて販売用のソバ

の実を春と秋の年2回栽培しています。秋晴れの下、一面の花に囲まれての作業。「好天続きで今年は豊作が期待できる」と、カマを片手に作業に励む訓練生たちの表情も楽しげ。

訓練生は木工、工芸のほかに農耕班、製めん班の4グループに役割分担されており、農耕班の育てたソバの実は、製めん班に引き継がれ、脱穀、唐箕（とうみ）がけ、製めんと作業が統合されます。

（田中治一組合長）

秋風に揺れる一面の純白



もうすぐ収穫

ソバの花満開

読書の秋。図書館にもつと親しんでおこうと、市立図書館で先月24日から2日間、「図書館まつり」が開かれました。

本のリサイクル市や市内の文部科学省ゆかりの地を紹介する資料展「文学と館山」、子どもお話を、映画会など多彩な催しに多くの親子連れなどが訪れます。



この日は館外にも本が並べられ、秋晴れの下で立ち読みとや子どもたちでいっぱいに。この日は館外にも本が並べられ、秋晴れの下で立ち読みとや子どもたちでいっぱいに。

この日は館外にも本が並べられ、秋晴れの下で立ち読みとや子どもたちでいっぱいに。

（田中治一組合長）

張替施設長は「種まきから製めんまで、一連の作業、収穫や販売する喜びは、訓練生の励みになっている」と話していました。市民から寄せられた七手四百冊の本が並び、リサイクル市では、初日から行列ができるほどの人気があり。朝から多くの人が並べられ、秋晴れの下で立ち読みとや子どもたちでいっぱいに。

（田中治一組合長）

人権上の問題や悩みごと・お気軽にご利用を

特設人権相談所

12月4日～10日は「人権週間」です。

館山人権擁護委員協議会と千葉地方法務局館山支局では、同週間に人権擁護委員と法務局職員による「特設人権相談所」を開設します。

いじめ、親子、相続などの家庭問題や、借地、いやがらせなど、人権上の問題や悩みごとがある人は、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。市内の人権擁護委員は左

▼市内の人権擁護委員（敬称略）

島田 牧子	北条2137	☎ 22-0724
鈴木 純也	北条1942-3	☎ 22-3656
池田 勝	宮城1039	☎ 22-5001
田中 邦政	北条2032-3	☎ 22-1861
河野 幸子	館山1324	☎ 23-5503
武田 金市郎	下真倉697-3	☎ 22-7763
鳩中 隆司	船形871-4	☎ 27-4036
青木 紀夫	北条1534	☎ 22-0118

表のとおりです。

目時／12月6日（月）

午前10時～午後3時まで

会場／菜の花ホール

問合せ／千葉地方法務局館山市局（☎ 22-10620）

12月の各日曜日、市税などの納税窓口を開きます。

是非ご利用ください。

12月の各日曜日、市税などの納税窓口を開きます。
日時／12月5日・12日・19日・26日（日）

午前9時～午後4時
場所／税務課（市役所1階）
問合せ／税務課取扱係
(☎ 22-3111内線548-549)

平成11年
第4回市議会定例会
招集予定日は
12月10日です

夜間救急医療

11月

15日(月) 富山町国保病院	☎ 58-0301
小田病院	☎ 92-1128
16日(火) 安房医師会病院	☎ 22-2172
17日(水) 安房医師会病院	☎ 22-2172
18日(木) 館山病院	☎ 22-1122
19日(金) 赤門整形外科内科	☎ 22-0008
20日(土) 鰐南病院	☎ 55-2125
21日(日) 館山病院	☎ 22-1122
22日(月) 富山町国保病院	☎ 58-0301
小田病院	☎ 92-1128
23日(火) 安房医師会病院	☎ 22-2172
24日(水) 安房医師会病院	☎ 22-2172
25日(木) 館山病院	☎ 22-1122
26日(金) 鰐南病院	☎ 55-2125
27日(土) 赤門整形外科内科	☎ 22-0008
28日(日) 安房医師会病院	☎ 22-2172
29日(月) 富山町国保病院	☎ 58-0301
小田病院	☎ 92-1128
30日(火) 安房医師会病院	☎ 22-2172

12月

1日(水) 安房医師会病院	☎ 22-2172
2日(木) 館山病院	☎ 22-1122
3日(金) 赤門整形外科内科	☎ 22-0008
4日(土) 鰐南病院	☎ 55-2125
5日(日) 安房医師会病院	☎ 22-2172
6日(月) 富山町国保病院	☎ 58-0301
小田病院	☎ 92-1128
7日(火) 安房医師会病院	☎ 22-2172
8日(水) 安房医師会病院	☎ 22-2172
9日(木) 館山病院	☎ 22-1122
10日(金) 赤門整形外科内科	☎ 22-0008
11日(土) 安房医師会病院	☎ 22-2172
12日(日) 赤門整形外科内科	☎ 22-0008
13日(月) 安房医師会病院	☎ 22-2172
14日(火) 安房医師会病院	☎ 22-2172
15日(水) 安房医師会病院	☎ 22-2172
16日(木) 館山病院	☎ 22-1122
17日(金) 赤門整形外科内科	☎ 22-0008
18日(土) 鰐南病院	☎ 55-2125
19日(日) 亀田総合病院	☎ 92-2211

休日救急当番医

11月

21日(日) 館山病院	☎ 22-1122
23日(火) 安房医師会病院	☎ 22-2172
28日(日) 安房医師会病院	☎ 22-2172

12月

5日(日) 小林病院	☎ 27-3811
安房医師会病院	☎ 22-2172
12日(日) 赤門整形外科内科	☎ 22-0008
19日(日) 館山病院	☎ 22-1122

※都合により、当番医が変更になる場合があります。

※夜間救急医療機関・休日救急当番医に市の施設が入っている場合は、市内の病院のみ掲載しています。

※鶴川市は市外局番(0470)が必要です。



ごみの搬出はルールを守って計画的に

年末年始のごみ収集

ごみの収集は、12月31日～1月3日まで休みます。
今年最後の収集日と、新年の収集開始日は次のとおりです。
収集の間隔が長くなりますが、よろしくお願ひします。

ごみの搬出は、近所の人の迷惑も考え、決められたものを決められた時間に出すようご協力をお願いします。

①ごみは、収集日の朝8時30分までに出してください。
②焼却場へ直接ごみを持ち込む場合、焼却を必要とする書類などは、一度に多量に持ち込まず、数日に分けて持ち込んでください。書類などのホルダーは必ずはずしてください。
③年末年始の古紙・紙パックの回収日は、環境美化カレンダーをご覧ください。
問合せ／環境保全課（☎ 22-3111内線614）

▼燃やせるごみの収集

週3回の地区	最終日	開始日
月・水・金曜日の地区	12月29日	1月5日
火・木・土曜日の地区	12月30日	1月4日

週1回の地区	最終日	開始日
火曜日の地区	12月28日	1月4日
水曜日の地区	12月29日	1月5日
木曜日の地区	12月30日	1月6日
金曜日の地区	12月24日	1月7日

▼燃えないごみの収集

収集地区	種別	最終日	開始日
月曜日の地区	金属類	12月27日	1月10日
	ガラス類	12月20日	1月17日
火曜日の地区	金属類	12月28日	1月11日
	ガラス類	12月21日	1月4日
水曜日の地区	金属類	12月29日	1月12日
	ガラス類	12月22日	1月5日
木曜日の地区	金属類	12月30日	1月13日
	ガラス類	12月9日	1月6日
金曜日の地区	金属類	12月17日	1月14日
	ガラス類	12月24日	1月7日
土曜日の地区	金属類	12月18日	1月29日
	ガラス類	12月25日	1月8日

▼年末年始のごみの持ち込み

ごみの種類	年末の持ち込み日と時間
可燃性大型ごみ（木製タンスなど）	25日(土) 午前8時45分～午前11時
上記以外に通常受け付けているごみ	28日(火) 午前8時45分～午後4時
※可燃性ごみ	29日(水) 午前8時45分～午後4時
粗大ごみ	30日(木) 午前8時45分～午後4時
カン類・ピン類等	31日(金) 午前8時45分～正午

平成12年1月4日(火)からは通常どおりです。

介護保険

審査会が本格スタート



介護認定の申請=那古地区公民館で
来年4月からスタートする介護保険制度導入を前に、先月1日から「要介護認定」の申請受け付けが始まりました。

各地区公民館などで行われた申請受け付けでは、家族らが次

から次へと申請に訪れ、市役所

高齢者福祉課へ先月1ヶ月間

(10月31日現在)で692件の申請

を受け付けました。

また、同申請を受け、10月13日

には市役所会議室で、介護認定の総合判定を行う初の認定審査会が開催されました。

審査会は午後6時から行われ、審査委員5人が、約3時間かけて27人の要介護度を決

こんなことあんなこと 相談案内 お気軽にどうぞ

相談はすべて無料です（土曜・日曜・祝日は休みます）
秘密は厳守されますからお気軽にご相談ください

心配ごと

（一般相談員による相談）
日時／毎週火曜日（祝日の場合は翌日）
午前10時～午後3時
(専門相談員による相談)
日時／毎月第1、第3火曜日
午後1時～3時

対象／一般相談員の相談を受けた人、
1日4人まで
場所／市民センター
問合せ／社会福祉協議会 ☎23-5068

介護

在宅での介護に関する心配ごと、悩みごと
日時／24時間・毎日
場所／館山市なのはな在宅介護
支援センター ☎29-2800
館山市ほえみ在宅介護
支援センター ☎27-6411

定例行政相談

行政への苦情や意見、要望
日時／12月9日（木）
午前10時～午後3時
場所／那古地区公民館

家庭教育

生活習慣、登校拒否、非行の相談など
日時／月曜～金曜日 午前9時～午後4時
場所／中央公民館
問合せ／☎23-3111

児童

家庭関係・養育問題など
日時／毎日午前8時30分～午後5時
場所／市社会福祉課

職業

高齢者・パートタイマー
日時／毎週月・火・木・金曜日
午前9時～午後5時
場所／市役所市民相談室

精神保健

不眠、イライラ、対人関係、老人ボケ等の心配
日時／12月7日（火）・12月14日（火）
12月21日（火）・12月27日（月）
午後1時30分～3時
場所／安房保健所
申込／安房保健所（☎22-4511）に予約必要

人権相談

日時／12月6日（月）
午前10時～午後3時
場所／菜の花ホール
問合せ／法務局館山支局 ☎22-0620

乳幼児

◎乳児健診
日時／12月15日（水）
対象／4カ月児
受付時間／午後1時30分～2時30分
◎乳児相談
日時／12月6日（月）
受付時間／午前9時30分～10時30分
◎1歳6カ月児健康診査
日時／12月2日（木）
対象／10年5月生まれ児
受付時間／午後1時20分～1時50分
◎3歳児健康診査
平成8年6月生まれは、12月16日（木）に行います
※場所はいずれも保健センター

消費生活

商品のサービスや苦情・問合せ
日時／12月2日（木）・16日（木）
午前9時～午後4時
場所／市役所市民相談室

市民

市民生活あれこれ、お気軽にどうぞ
日時／毎日 午前9時～午後5時
場所／市役所市民相談室

結婚

日時／毎月第1、第3日曜日
午前10時～午後4時
場所／市民センター
問合せ／社会福祉協議会 ☎23-5068

年金

厚生年金など（館山市役所は偶数月に開催）
日時／12月16日（木）
午前10時～午後3時
場所／館山市役所
国民年金は、常時市民課で相談に応じます。

交通事故

電話でもできます
日時／毎日午前9時～午後4時30分
場所／交通事故相談所安房支所
問合せ／☎22-7111（内線371）

身障・知的障害

日時／身障：毎月第2金曜日
知的障害：毎月第4火曜日
午後1時～3時
場所／伊賀整形外科クリニック
知的障害：田村病院
申込／社会福祉課に必ず事前に申し込みをしてください。

不用品 情報コーナー

みなさんの不用品交換のお手伝いをします。ほしい、譲りたいなどのご希望をお寄せください。
お問い合わせは、商工観光課消費生活係（☎22-3111内線596）へどうぞ。

○希望します【希望条件】

【相談】ベビーベッド・海外旅行用スツケース・2段ベッド・2槽式洗濯機(3.3kg以上)・双子用ベビーカー・ベビー用品全般(双子用ベビーカー・ベビー服他)・ベビーテック・子供用自転車(20・22インチ)・グランドゴルフ用ステッキ・同ケース・ボール・チャイルドシート【無料】足踏みオルガン

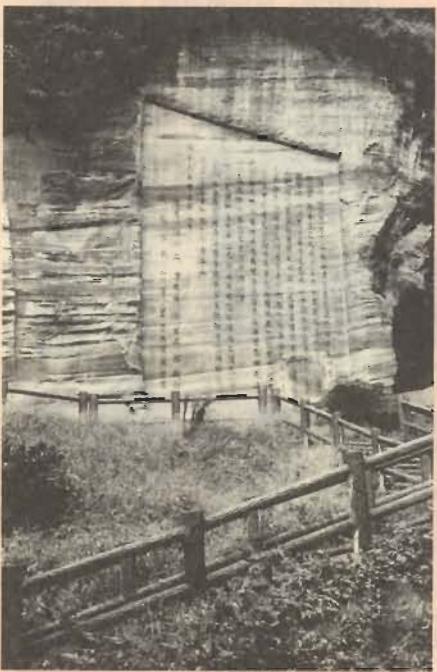
○譲ります【希望条件】

【相談】柄物カーペット(4.5畳・冬物)・14インチテレビ・雑人形(秀月・3段飾り)・冷蔵庫4ドア(グリーン・高さ178cm)・8ミリ映写機・學習机【無料】ベビーチェア・ベビーカー(B型)・子供用腹巻・子供用ランニング

●12月の古紙・紙パック回収日

地区名	古紙	紙パック
館 山	5日(日) 14日(水)	16日(木)
北 条	12日(日) 21日(火)	2日(木)
那古・船形	26日(日)	9日(木)
西岬・富崎	9日(木)	22日(水)
神 戸	6日(月)	22日(水)
豊 房	23日(木)	22日(水)
館野・九重	22日(水)	9日(木)

○新聞、雑誌、ダンボールに分けてごみ搬出場所へ
○回収日の午前8時30分までに
○雨でも回収します。濡れないように、
ビニールなどで覆ってください
○紙パックは切り開き、洗ってたばねてください



転った巨大磨崖碑

市内船形地区にある東京都船形学園の裏山に見上げるような磨崖碑が立っています。その高さは約10メートル、横幅約6メートル、1文字の大書きは、なんと30センチメートルもある巨大なもの。この碑に書かれた渋沢栄一は、わが国に大きな影響を与えた人物として著名です。

栄一は大蔵省の中心官僚として、府知事に懇意な存在でした。渋沢は、この碑に「渋沢栄一」と記されています。また、この碑は、江戸時代に就任した町会所積金（江戸時代に天災疫病などの非常時に救済用に積立てられた共有金）の運用を任せられたのです。

渋沢栄一の博愛と 転った磨崖碑

（後）商工会議所の初代頭取に就任し、町会所積金（江戸時代に天災疫病などの非常時に救済用に積立てられた共有金）の運用を任せられたのです。當時、營繕会議所はその名前が示すように、近代都市建設のため、市中の道路や橋の工事などを本來の目的である窮屈民の救済事業養育院にも關係するようになります。そこで栄一は船形学園の前身である東京市養育院の初代院長となりました。

後日、自ら回想しているように、「極めて偶然のことからであります。しかしこのことには、わが国近代化を導く偉大なあり、決して高い理想や考え方を持つて始めたわけではなく、たゞそうです。しかしこのことには、わが国近代化を導く偉大な船形学園裏山の磨崖碑は、大正3年に当時の正木清一郎船形町長が発起人となつて建立されたもので、撰文は三松学舎創立者三島中洲博士、碑文は渋沢栄一院長によります。

明治42年、東京市養育院寄寓分院として、気候の温暖な房州の地に創設されたものです。船形学園裏山の磨崖碑は、大正3年に当時の正木清一郎船形町長が発起人となつて建立されたもので、撰文は三松学舎創立者三島中洲博士、碑文は渋沢栄一院長によります。

船形学園は、病弱な子供や忠実な子供たちを救うため、これまでの子供たちを殺すために、無給で働くなど救済事業に情熱を傾けます。

船形学園は、病弱な子供や忠実な子供たちを救うため、これまでの子供たちを殺すために、無給で働くなど救済事業に情熱を傾けます。

12月の市立博物館の休館日は、6日
13日・20日・24日・27日・29日、
31日です。

船形学園はまもなく創立90周年をむかえます。

「一日としてみんなのことを思ふぬ日はない」と子供たちに語りかけていた栄一の博愛の心を語りかける磨崖碑でしたが、長年になってしましました。

「一日としてみんなのことを思ふぬ日はない」と子供たちに語りかけていた栄一の博愛の心を語りかける磨崖碑でした。磨崖碑は、長い間風雨に晒され、文字が読めなくなってしまいました。

「一日としてみんなのことを思ふぬ日はない」と子供たちに語りかけていた栄一の博愛の心を語りかける磨崖碑でした。磨崖碑は、長い間風雨に晒され、文字が読めなくなってしまいました。

「一日としてみんなのことを思ふぬ日はない」と子供たちに語りかけていた栄一の博愛の心を語りかける磨崖碑でした。磨崖碑は、長い間風雨に晒され、文字が読めなくなってしまいました。

かつては、例祭の日に青年団から選ばれた神楽の演者が歌舞伎も同時にこなし、近隣の村へ興行に出かけていたことも。大正期には「錦華団」と名前までつけて、祭りで声がかかると船形あたりまで出向いたと言います。

向いたと言います。

押本会長は「獅子神樂は、私たち地元住民にとって誇りある伝承行事。これからも大切に守っていきたい」と話していました。



同地区的伝承行事。吉茂口獅子神樂で行われます。

吉茂口獅子神樂が奉納されました。

笛や太鼓のお囃子に合わせ、二本の刀を振りかざし勇壮に舞う吉茂口の目枝神社で例祭の先月16日、市指定無形文化財「吉茂口獅子神樂」が奉納されました。

しましました。

吉茂口獅子神樂は、毎年1月15日の「春祈持」と同神社の例祭の同日に披露されています。

この日は同神社本殿で、獅子の衣裳をまとつた2人の踊り手

が、鼓や太鼓、笛、すり鐘のお囃子に合わせ、序の舞、幣束の舞、獅子がお囃子と力強い木遣り舞、獅子の舞、くずしの舞を次から次へと披露。

獅の舞では、両手に刀を持つた獅子がお囃子と力強い木遣り舞、獅の舞を見せていました。

かつては、例祭の日に青年団から選ばれた神楽の演者が歌舞伎も同時にこなし、近隣の村へ興行に出かけていたことも。大正期には「錦華団」と名前までつけて、祭りで声がかかると船形あたりまで出向いたと言います。

押本会長は「獅子神樂は、私たち地元住民にとって誇りある伝承行事。これからも大切に守っていきたい」と話していました。



吉茂口獅子神樂奉納

剣を手に勇壮な舞

平成11年11月15日 22